

市議会の新体制決まる

写真
氏名
選出区
会派名

会派名
 自由民主党:自由民主党千葉市議会議員団
 未来立憲民主ちば:未来立憲民主ちば
 公明党:公明党千葉市議会議員団
 自民党・無所属の会:千葉市議会自由民主党・無所属の会
 日本共産党:日本共産党千葉市議会議員団
 市民ネットワーク:市民ネットワーク

常任委員会 定数10人 議会に提出された議案等を分野別に審査します。議員はいずれかの委員会に所属し、任期は1年です。

総務委員会 危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政などを所管

 委員長 宇留間 又衛門 中央区 自由民主党	 副委員長 岩井 美春 美浜区 未来立憲民主ちば	 青山 雅紀 若葉区 公明党	 岡田 慎 中央区 無所属	 川合 隆史 稲毛区 未来立憲民主ちば	 櫻井 崇 花見川区 自民党・無所属の会	 川岸 俊洋 花見川区 公明党	 石井 茂隆 緑区 自由民主党	 米持 克彦 美浜区 自由民主党	 野本 信正 若葉区 日本共産党
--	---	--	---	---	--	--	---	--	--

保健消防委員会 保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院などを所管

 委員長 三須 和夫 緑区 自由民主党	 副委員長 渡辺 忍 未来立憲民主ちば	 鷺見 隆仁 美浜区 自由民主党	 森山 和博 中央区 公明党	 山田 京子 若葉区 市民ネットワーク	 桜澤 洋平 稲毛区 日本共産党	 植草 毅 中央区 自民党・無所属の会	 段木 和彦 花見川区 未来立憲民主ちば	 近藤 千鶴子 緑区 公明党	 茂手木 直忠 稲毛区 自由民主党
---	---	--	--	---	--	--	--	--	---

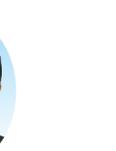
環境経済委員会 市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業などを所管

 委員長 石橋 毅 若葉区 自由民主党	 副委員長 秋山 陽 若葉区 未来立憲民主ちば	 桜井 秀夫 稲毛区 公明党	 岩崎 明子 若葉区 市民ネットワーク	 石川 弘 花見川区 自由民主党	 蛭田 浩文 中央区 無所属	 川村 博章 花見川区 自由民主党	 白鳥 誠 緑区 未来立憲民主ちば	 橋本 登 美浜区 自民党・無所属の会	 福永 洋 中央区 日本共産党
---	--	--	---	--	--	--	---	---	---

教育未来委員会 子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習などを所管

 委員長 田畑 直子 美浜区 未来立憲民主ちば	 副委員長 伊藤 隆広 美浜区 自民党・無所属の会	 伊藤 康平 美浜区 公明党	 阿部 智 稲毛区 自民党・無所属の会	 松井 佳代子 美浜区 市民ネットワーク	 岩井 雅夫 花見川区 自由民主党	 小松崎 文嘉 稲毛区 自由民主党	 麻生 紀雄 若葉区 未来立憲民主ちば	 中村 公江 花見川区 日本共産党	 三瓶 輝枝 花見川区 未来立憲民主ちば
---	--	--	---	--	---	--	---	---	--

都市建設委員会 まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道などを所管

 委員長 酒井 伸二 中央区 公明党	 副委員長 前田 健一郎 若葉区 自由民主党	 小坂 さとみ 稲毛区 未来立憲民主ちば	 安喰 初美 稲毛区 日本共産党	 亀井 琢磨 中央区 未来立憲民主ちば	 村尾 伊佐夫 花見川区 公明党	 向後 保雄 中央区 無所属	 盛田 眞弓 花見川区 日本共産党	 森 茂樹 緑区 自民党・無所属の会	 中島 賢治 中央区 自由民主党
--	---	--	--	---	--	---	---	--	--

特別委員会 定数11人 (◎は委員長、○は副委員長) 2つ以上の常任委員会に關係する案件や、特に重要な問題の調査・研究を行います。

大都市制度・基本計画調査特別委員会 大都市の実態に対応した行財政制度の確立及び地方分権の推進や、基本計画及び実施計画の策定について調査します。 ◎米持 克彦 ○小坂 さとみ 青山 雅紀 伊藤 隆広 岩井 美春 安喰 初美 酒井 伸二 小松崎 文嘉 段木 和彦 石井 茂隆 茂手木 直忠	超高齢社会調査特別委員会 団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、超高齢社会に伴う諸問題について調査します。 ◎川岸 俊洋 ○鷺見 隆仁 前田 健一郎 秋山 陽 石川 弘 櫻井 崇 麻生 紀雄 白鳥 誠 近藤 千鶴子 中島 賢治 野本 信正
---	---

議会運営委員会 定数11人 (◎は委員長、○は副委員長)

議事日程や議案、意見書、請願、陳情の取り扱いなど、議会の運営に関することを協議します。

◎中島 賢治 ○近藤 千鶴子 桜井 秀夫 前田 健一郎
阿部 智 石川 弘 亀井 琢磨 田畑 直子
川合 隆史 桜澤 洋平 三須 和夫

監査委員

市の事務事業が適正かつ効率的に実施されているか監査を行います。監査委員4人のうち2人が議員から選任されています。

岩井 雅夫 三瓶 輝枝

会派等構成 議員定数50人 (令和4年7月7日現在)

会派名	人数	役員及び構成員
自由民主党 千葉市議会議員団	13	幹事長 賢治 副幹事長 弘 相談役 米持 克彦 相談役 三須 和夫 会計 前田 健一郎 鷺見 隆仁 中島 賢治 岩井 雅夫 小松崎 文嘉 川村 博章 川村 博章 伊藤 隆広 石井 茂隆 茂手木 直忠
未来立憲民主ちば	11	幹事長 川合 隆史 副幹事長 亀井 琢磨 幹事 小坂 さとみ 会計幹事 秋山 陽 相談役 白鳥 誠 岩井 美春 渡辺 忍 田畑 直子 麻生 紀雄 段木 和彦 三瓶 輝枝
公明党 千葉市議会議員団	8	幹事長 近藤 千鶴子 副幹事長 桜井 秀夫 会計幹事 青山 雅紀 伊藤 康平 森山 和博 酒井 伸二 村尾 伊佐夫 川岸 俊洋
千葉市議会 自由民主党・無所属の会	6	幹事長 阿部 智 副幹事長 櫻井 崇 会計 伊藤 隆広 会長 森 茂樹 植草 毅 橋本 登
日本共産党 千葉市議会議員団	6	幹事長 中村 公江 副幹事長 桜澤 洋平 会計幹事 盛田 眞弓 安喰 初美 福永 洋 野本 信正
市民ネットワーク	3	幹事長 松井 佳代子 会計 岩崎 明子 山田 京子
無所属	1	蛭田 浩文
無所属	1	向後 保雄
無所属	1	岡田 慎

常任委員会 各常任委員会において、補正予算・条例議案などを詳細に審査しました。質疑の一部をご紹介します。なお、各委員会の所管事項は2面に掲載しています。

総務委員会 議案8件 新庁舎移転に向けた什器の調達方法と、フロアの見通しは 問 キャビネット(収納庫)と机・椅子は、別の部署が発注することだが、スケールメリットがでるようまとめて発注しないのか。また、現庁舎は、ロッカーで仕切られて来庁者から職員が見えづらいが解消されるのか。 答 多くの什器を一本にまとめて大量発注すると、受注者が絞られる可能性がある。市内業者育成の観点からも、合理的な理由があれば分割発注の方が良いと考えている。また、3・4階には、来庁者が多い部署を配置する予定であるが、そこではカウンターを前面に出し、来庁者から職員が見やすい構造とする予定である。	保健消防委員会 議案3件 発議1件 新型コロナウイルス感染症第6波への対応の評価と保健所体制の課題は 問 第6波への対応をどのように評価しているのか。また、保健所体制の強化は非常に重要だが、課題があるのか。 答 第6波では、第5波の経験を踏まえ1日当たりの患者数を300人と想定していたところ、1,000人を超える状況となったことから、職員等を動員したが、あまりにも急激な患者数の増加に対応が困難な状況となった。第7波に向けての準備として外部委託が可能な業務については委託化を図るとともに、ICTの活用による効率化を進めていく。また、職員も疲弊してきており、フォローアップが課題と考える。
--	--

環境経済委員会 議案3件 肥料価格高騰対策事業の展望は 問 販売を行う市内農業者に対し、肥料価格高騰分の経費を補助することだが、この事業にどのような展望を持って取り組むのか。 答 肥料価格の動向は不透明で高止まりが続いているため、高騰分に対し支援を行う。この支援を契機として、農業者が、本市が無料で実施している土壌診断を活用し、土壌に合った肥料の成分や量等を把握可能となる。これにより、今までの化学肥料に頼る生産体系から、化学肥料を削減し、肥料コストを低減できる生産体系への転換を図り、土づくりを基本とした持続的な農業を推進していきたいと考えている。	教育未来委員会 議案4件 請願1件 夜間中学の設置場所の選定と給食を実施しない理由は 問 令和5年4月に夜間中学を、真砂中学校の分校として、隣接地の教育複合施設「まさご夢スクール」内に設置することだが、設置場所はどのように決めたのか。また、全国の夜間中学の半数程度が給食を実施している中で、本市が実施しない理由を伺う。 答 設置場所は、交通の利便性や、日本語指導通級教室等との連携等の観点から選定した。給食は、施設内に調理施設が無く、また、他の学校と開設時間が異なるため、給食センターからの配食も難しいことから実施しないが、開校後にニーズ調査を行う予定である。	都市建設委員会 議案6件 雨水貯留槽の設置工事で発覚した土壌汚染への対応は 問 浸水対策のため、宮崎2丁目及び都町3丁目を実施している雨水貯留槽の設置工事において、掘削予定箇所の土壌汚染が確認されたが、周辺地域への影響はないのか。また、汚染土壌はどのように処理するのか。 答 地下水に溶出する恐れがあるヒ素とフッ素は、水質分析では基準値以内に収まっており、飛散が懸念される鉛は、汚染土壌を全て掘削運搬処理するため、周辺地域への影響はないと考えている。また、掘削運搬した汚染土壌は処理施設で洗浄等の処理後に処分し、雨水貯留槽を埋設する際には、健全土を使用する。
---	--	---